

令和6年度 東京都立足立特別支援学校 年間指導計画

学部	高等部 普通科	学年	3年	学習グループ	A1(6人)	教科等名	国語
年間授業時数	60	使用教室	3-4教室	使用教科書		気持ちの本(童話館出版)	
曜日・校時 担当教員	火曜日	6時間目(14:10~15:00)	MT	鈴木 蒔	ST	高田 梓	
	金曜日	2時間目(9:40~10:30)	MT	鈴木 蒔	ST	飯田 瑠璃、小宮 滉太郎	
ねらい	(1) 生活に必要な国語についての理解を深め、伝え合う力を高めるとともに、それらを適切に活用する能力と態度を育てる。						
	(2) 様々な言葉に触れ、言葉やジェスチャー、文字等によるコミュニケーション能力を高める。						
	(3) 言葉や文字の理解を深め、余暇活動を充実させる。						
学期	単元名	月	時数	主な学習内容	ねらい	手だて	
1 学期	書字練習(通年) 図書室の利用 自己紹介	4	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の名前を書く、選ぶ練習をする。</li> <li>図書室の利用方法を確認する。</li> <li>自分のことを相手に伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の名前を書いたり、見て理解したりすることができる。</li> <li>図書室での過ごし方や本の借り方を確認する。</li> <li>自己紹介の挨拶をすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>なぞり書きや名前を選択する活動を繰り返し行う。</li> <li>実際に本を借りて貸出の流れを確認できるようにする。</li> <li>伝える項目を明確にし、必要に応じて助言する。</li> </ul>	
	体育祭の目標 体育祭の振り返り	5	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>体育祭で頑張りたいことを表現する。</li> <li>写真を見て体育祭の思い出を振り返ってまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>体育祭の活動に見通しをもち、目標を決めることができる。</li> <li>体育祭の思い出を振り返ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>絵や写真を用いてイメージをもつことができるようにする。</li> </ul>	
	様々な言葉	6	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>場所の名前を知る。</li> <li>季節に関する言葉を知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>場所の名前を正しく理解することができる。</li> <li>季節に関する言葉を知ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実物や写真を使い、場所と名前が正しく結びつくようにする。</li> <li>写真や絵を用いてイメージをもてるようにする。</li> </ul>	
	七夕の願い事 暑中見舞い	6 7	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>七夕の願い事を考えて短冊に書く。</li> <li>暑中見舞いを作成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の願い事を短冊に書くことができる。</li> <li>お世話になっている人に向けて暑中見舞いを作成することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>願い事の例を示して、自分で考えることが難しい場合は例の中から選ぶことができるようにする。</li> <li>なぞり書きをしたり、シールを貼ったりして作成できるようにする。</li> </ul>	
2 学期	夏休みの振り返り 敬語	9	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>夏休みの出来事を振り返る。</li> <li>挨拶の練習をする。</li> <li>「です」、「ます」をつけて話す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>夏休みの思い出を振り返り、伝えることができる。</li> <li>相手に伝わるように挨拶をすることができる。</li> <li>「です」、「ます」を使って丁寧に話すことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>夏休み帳を基に夏休みの思い出に関する写真や絵を用意し、振り返ることができるようにする。</li> <li>繰り返しやり取りをして自分からできる頻度を高める。</li> </ul>	
	物語	10	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>物語を聞いて内容を知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>物語の内容を理解することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>登場人物や話の内容を絵や図で確認して理解を促す。</li> </ul>	
	文の構成	11	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>正しい助詞を選んで文を完成させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>助詞を正しく使って話すことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>助詞のカードを用いて、手に持って助詞を選べるようにする。</li> </ul>	
	年賀状	12	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>お世話になっている人に向けて年賀状を作る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年賀状を作成することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>なぞり書きをしたり、シールを貼ったりして年賀状の形式で作成できるようにする。</li> </ul>	
3 学期	文化祭に向けて	1	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分のセリフや動きを覚え、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>話の内容を理解することができる。</li> <li>台本に沿って自分のセリフや動きを気持ちを含めて表現することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>見通しをもって発表に取り組めるよう、台本の読み合わせや動きをつけた練習を繰り返し行う。</li> </ul>	
	書写	2	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>硬筆で線や文字を丁寧に書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>丁寧に書くことを意識して線や字を書くことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実態に合わせた太さや大きさでなぞり書きをできるようにワークシートを用意する。</li> </ul>	
	一年間のまとめ	3	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>写真を見て一年間を振り返る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の体験を振り返り、その時の気持ちや今の気持ちを文章や気持ちで表し、一年間の学習のまとめをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシートを用いて、体験したことやその時の気持ちを振り返れるよう工夫する。</li> <li>写真や映像を用いて1年間の様々な活動を思い出せるようにする。</li> </ul>	

令和6年度 東京都立足立特別支援学校 年間指導計画

学部	高等部 普通科	学年	3年	学習グループ	A2(6人)	教科等名	国語
年間授業時数	60	使用教室	3-5教室			使用教科書	気持ちの本(童話館出版)
曜日・校時 担当教員	火曜日	5時間目(13:15~14:05)	MT	吉田 祥子	ST	山本 圭子	
	金曜日	2時間目(9:40~10:30)	MT	吉田 祥子	ST	藤田 裕一	
ね ら い	(1)	生活に必要な国語についての理解を深め、伝え合う力を高めるとともに、それらを適切に活用する能力と態度を育てる。					
	(2)	様々な言葉に触れ、言葉やジェスチャー、文字等によるコミュニケーション能力を高める。					
	(3)	言葉や文字の理解を深め、余暇活動を充実させる。					
学期	単元名	月	時数	主な学習内容	ねらい	手だて	
1 学 期	書字練習(通年) 図書の利用 自己紹介	4	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の名前を書く、選ぶ練習をする。</li> <li>図書室の利用方法を確認する。</li> <li>自分のことを相手に伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の名前を書いたり、見て理解したりすることができる。</li> <li>図書室での過ごし方や本の借り方を確認する。</li> <li>自己紹介の挨拶をすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>なぞり書きや名前を選択する活動を繰り返し行う。</li> <li>実際に本を借りて貸出の流れを確認できるようにする。</li> <li>伝える項目を明確にし、必要に応じて助言する。</li> </ul>	
	体育祭の目標 体育祭の振り返り	5	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>体育祭で頑張りたいことを表現する。</li> <li>写真を見て体育祭の思い出を振り返ってまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>体育祭の活動に見通しを持ち、目標を決めることができる。</li> <li>体育祭の思い出を振り返ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>絵や写真を用いてイメージをもつことができるようにする。</li> </ul>	
	様々な言葉	6	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>場所の名前を知る。</li> <li>季節に関する言葉を知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>場所の名前を正しく理解することができる。</li> <li>季節に関する言葉を知ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実物や写真を使い、場所と名前が正しく結びつくようにする。</li> <li>写真や絵を用いてイメージをもてるようにする。</li> </ul>	
	七夕の願い事 文の構成	7	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>七夕の願い事を考えて短冊に書く。</li> <li>正しい助詞を選んで文を完成させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の願い事を短冊に書くことができる。</li> <li>助詞を正しく使って話すことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>願い事の例を示して、自分で考えることが難しい場合は例の中から選ぶことができるようにする。</li> <li>助詞のカードを用いて、手に持って助詞を選べるようにする。</li> </ul>	
2 学 期	夏休みの振り返り 敬語	9	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>夏休みの出来事を振り返る。</li> <li>挨拶の練習をする。</li> <li>「です」、「ます」をつけて話す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>夏休みの思い出を振り返り、伝えることができる。</li> <li>相手に伝わるように挨拶をすることができる。</li> <li>「です」、「ます」を使って丁寧に話すことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>夏休み帳を基に夏休みの思い出に関する写真や絵を用意し、振り返ることができるようにする。</li> <li>繰り返しやり取りをして自分からできる頻度を高める。</li> </ul>	
	説明を落とさず聞こう	10	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>話の聞き方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>相手の話の中で、重要な部分を落とさずに聞くことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>空欄を入れたワークシートを準備し、どのあたりを注意して聞けばよいかをわかりやすくする。</li> </ul>	
	物語	11	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>物語を聞いて内容を知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>物語の内容を理解することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>登場人物や話の内容を絵や図で確認して理解を促す。</li> </ul>	
	年賀状	12	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>お世話になっている人に向けて年賀状を作る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年賀状を作成することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>なぞり書きをしたり、シールを貼ったりして年賀状の形式で作成できるようにする。</li> </ul>	
3 学 期	文化祭に向けて	1	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分のセリフや動きを覚え、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>話の内容を理解することができる。</li> <li>台本に沿って自分のセリフや動きを気持ちを入れて表現することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>見通しをもって発表に取り組めるよう、台本の読み合わせや動きをつけた練習を繰り返し行う。</li> </ul>	
	書写	2	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>硬筆で線や文字を丁寧に書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>丁寧に書くことを意識して線や字を書くことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実態に合わせた太さや大きさでなぞり書きをできるようにワークシートを用意する。</li> </ul>	
	一年間のまとめ	3	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>写真を見て一年間を振り返る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の体験を振り返り、その時の気持ちや今の気持ちを文章や気持ちで表し、1年間の学習のまとめをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシートを用いて、体験したことやその時の気持ちを振り返れるよう工夫する。</li> <li>写真や映像を用いて1年間の様々な活動を思い出せるようにする。</li> </ul>	

令和6年度 東京都立足立特別支援学校 年間指導計画

学部	高等部 普通科	学年	3年	学習グループ	B1(7人)	教科等名	国語
年間授業時数	119	使用教室	3-2教室	使用教科書		最新国語資料集 (明治図書)	
曜日・校時 担当教員	火曜日	6時間目 (14:10~15:00)	MT	藤田 裕一	ST		
	月~金	7時間目 (15:05~15:30)	MT	山本 裕史	ST	山崎 敏子	
ねらい	## 社会生活に必要な言語知識や技能を身に付ける						
	## 社会の様々な事象に対し、自分なりの意見を持ち、効果的に相手に伝えることができる。						
	## 文章や相手の話を正しく理解し、判断して行動することができる。						
学期	単元名	月	時数	主な学習内容	ねらい	手だて	
1学期	漢字	通年	92	・漢字の学習をする。	・年間を通して漢字や書字の学習に取り組み、読み書きの力を高める。	・日常生活や働く場面に密接した漢字を選択する。	
	オリエンテーション 図書室オリエンテーション 自己紹介 漢字・言語	4	3	・国語の授業の流れを知る。 ・自己紹介をする。 ・図書室の使い方を知る。 ・漢字や言語の練習をする。	・自分のことを言葉で他者に伝える力を育成する。 ・図書室の利用法を知り、必要な情報の探し方を知る。 ・基本的な漢字の読み書きができる。	・自己紹介の鑑を作り、紹介内容や適切な言葉遣いを知らせる。 ・ほしい情報を得るための調べ方を知らせる。 ・実態に応じてプリント学習を行う。	
	体育祭の感想文	5	2	・体育祭の感想を作文で表現する。	・一つの出来事について、自分の思いをわかりやすく効果的に書くことができる。	・ワークシートを使い、体育祭の中から書くことを1つにしぼれるようにする。 ・作文メモを用意し、時系列、気持ちの動きなどを確認できるようにする。	
	読書	6	2	・本を読み、POPを作る。	・読書を楽しむことができる。 ・感想を短い言葉やイラストを使い、伝えることができる。	・読書手帖を用意し、自分の読書傾向が分かるようにする。 ・POPの例を提示する。	
	お礼状	7	2	・実習先にお礼状を書く。	・改まった手紙の書き方に沿って、お礼状を書くことができる。	・正式な便箋、封筒を準備する。 ・頭語、結語、時候の挨拶、定型のお礼の言葉、手紙独特の表現などを配布する。	
2学期	日本の伝統行事 (お月見) 説明文を読む	9	4	・お月見の行事について知る。 ・説明文を読む。	・伝統的な行事について理解する。 ・説明文の読み方を身につける。	・伝統的な日本の美意識について説明する。 ・月に関する逸話を集め、興味をもたせる。 ・接続詞の役割を伝え、読解につなげる。	
	韻文を読む	10	1	・短歌、俳句、詩を鑑賞する。	・伝統的な日本の韻文について知る。 ・書かれている言葉から、作者の気持ちを類推する。	・五音七音の形式になっているものを挙げ、リズムのよさに気づかせる。 ・ワークシートを使い、作者の気持ちを想像できるようにする。	
	日本の伝統文化 (言葉遊び) お礼状	11	4	・判じ絵、謎、謎かけ、しりとりなどをする。 ・実習先にお礼状を書く。	・言葉遊びを楽しむ。 ・言語知識を増やすことができる。 ・改まった手紙の書き方に沿って、お礼状を書くことができる。	・分かりやすい教材を準備する。 ・ゲーム性をもたせ興味をもって言語知識が増やせるようにする。 ・頭語、結語、時候の挨拶、定型のお礼の言葉、手紙独特の表現などを配布する。	
	日本の伝統行事 (年賀状・喪中欠礼)	12	4	・年賀状、喪中欠礼を書く。	・年賀状の書き方、喪中欠礼の意味と書き方を知る。	・喪中欠礼の意味と書き方を伝える。	
3学期	日本の伝統行事 (書初め) 日本の伝統行事 (カルタ)	1	2	・一年の抱負を四字熟語で表す。 ・カルタをする。	・四字熟語に触れる。 ・カルタを楽しむ。	・代表的な四字熟語をプリント配布する。 ・競技カルタを視聴する。 ・一字決まり句、二字決まり句をプリント配布し、ゲームとしての使い方を説明する。	
	一般常識	2	1	・改まった電話の応対を体験する。 ・祝儀袋・不祝儀袋を書く。 ・往復はがきを使う。	・適切な電話の応対ができる。 ・冠婚葬祭のルールを知り、適切に祝儀袋・不祝儀袋を書くことができる。 ・返信の仕方を知る。	・電話応対のマニュアルを作り、実際にやってみる。 ・代表的な祝儀袋・不祝儀袋の文字と使い方をプリントする。 ・どこを書き替えるのか、消すのか等、丁寧に提示する。	
	ニュースを読む お礼状	3	2	・ニュースを読み、自分の意見を書く。 ・卒業に向け、お世話になった人へ感謝の手紙を書く。	・時事問題に興味をもち、自分の意見をもつことができる。 ・感謝の気持ちを表現することができる。	・ニュースの内容を分かりやすく書き換える。 ・ワークシートを使い意見をまとめやすくする。 ・学校生活を振り返り、感謝の気持ちを具体的に書くようにする。	

令和6年度 東京都立足立特別支援学校 年間指導計画

学部	高等部 普通科	学年	3年	学習グループ	B2(7人)	教科等名	国語
年間授業時数	119	使用教室	3-1教室			使用教科書	最新国語資料集(明治図書)
曜日・校時 担当教員	火曜日	6時間目(14:10~15:00)	MT	飯田 瑠璃	ST		
	月~金	7時間目(15:05~15:30)	MT	飯田 瑠璃	ST	鈴木 蒔	

ねらい	(1)	社会生活に必要な言語知識や技能を身に付ける
	(2)	社会の様々な事象に対し、自分なりの意見を持ち、効果的に相手に伝えることができる。
	(3)	文章や相手の話を正しく理解し、判断して行動することができる。

学期	単元名	月	時数	主な学習内容	ねらい	手だて
1 学期	漢字	通年	92	・漢字の学習をする。	・年間を通して漢字や書字の学習に取り組み、読み書きの力を高める。	・日常生活や働く場面に密接した漢字を選択する。
	オリエンテーション 図書室オリエンテーション 自己紹介 漢字・言語	4	3	・国語の授業の流れを知る。 ・自己紹介をする。 ・図書室の利用の仕方を知る。 ・漢字や言語の練習をする。	・自分のことを言葉で他者に伝える力を育成する。 ・図書室の利用法を知り、必要な情報の探し方を知る。 ・基本的な漢字の読み書きができる。	・自己紹介の鑑を作り、紹介内容や適切な言葉遣いを知らせる。 ・ほしい情報を得るための調べ方を知らせる。 ・実態に応じてプリント学習を行う。
	体育祭の感想文	5	2	・体育祭の感想を作文で表現する。	・一つの出来事について、自分の思いをわかりやすく効果的に書くことができる。	・ワークシートを使い、体育祭の中から書くことを1つにしぼれるようにする。 ・作文メモを用意し、時系列、気持ちの動きなどを確認できるようにする。
	読書	6	2	・本を読み、POPを作る。	・読書を楽しむことができる。 ・感想を短い言葉やイラストを使い、伝えることができる。	・読書手帖を用意し、自分の読書傾向がわかるようにする。 ・POPの例を提示する。
	お礼状	7	2	・実習先にお礼状を書く。	・改まった手紙の書き方に沿って、お礼状を書くことができる。	・正式な便箋、封筒を準備する。 ・頭語、結語、時候の挨拶、定型のお礼の言葉、手紙独特の表現などを配布する。
2 学期	日本の伝統行事(お月見) 説明文を読む	9	4	・お月見の行事について知る。 ・説明文を読む。	・伝統的な行事について理解する。 ・説明文の読み方を身につける。	・伝統的な日本の美意識について説明する。 ・月に関する逸話を集め、興味をもたせる。 ・接続詞の役割を伝え、読解につなげる。
	韻文を読む	10	1	・短歌、俳句、詩を鑑賞する。	・伝統的な日本の韻文について知る。 ・書かれている言葉から、作者の気持ちを類推する。	・五音七音の形式になっているものを挙げ、リズムのよさに気づかせる。 ・ワークシートを使い、作者の気持ちを想像できるようにする。
	日本の伝統文化(言葉遊び) お礼状	11	4	・判じ絵、謎、謎かけ、しりとりなどをする。 ・実習先にお礼状を書く。	・言葉遊びを楽しむ。 ・言語知識を増やすことができる。 ・改まった手紙の書き方に沿って、お礼状を書くことができる。	・わかりやすい教材を準備する。 ・ゲーム性をもたせ、興味をもって言語知識を増やせるようにする。 ・頭語、結語、時候の挨拶、定型のお礼の言葉、手紙独特の表現などを配布する。
	日本の伝統行事(年賀状・喪中欠礼)	12	4	・年賀状、喪中欠礼を書く。	・年賀状の書き方、喪中欠礼の意味と書き方を知る。	・喪中欠礼の意味と書き方を伝える。
3 学期	日本の伝統行事(書初め) 日本の伝統行事(カルタ)	1	2	・一年の抱負を四字熟語で表す。 ・カルタをする。	・四字熟語に触れる。 ・カルタを楽しむ。	・代表的な四字熟語をプリント配布する。 ・競技カルタを視聴する。 ・一字決まり句、二字決まり句をプリント配布し、ゲームとしての使い方を説明する。
	一般常識	2	1	・改まった電話の対応を体験する。 ・祝儀袋・不祝儀袋を書く。 ・往復はがきを使う。	・適切な電話の対応ができる。 ・冠婚葬祭のルールを知り、適切に祝儀袋・不祝儀袋を書くことができる。 ・往復はがきの返信の仕方を	・電話対応のマニュアルを作り、実際にやってみる。 ・代表的な祝儀袋・不祝儀袋の文字と使い方をプリントする。 ・どこを書き替えるのか、消すのか等、丁寧に提示する。
	ニュースを読む お礼状	3	2	・ニュースを読み、自分の意見を書く。 ・卒業に向け、お世話になった人へ感謝の手紙を書く。	・時事問題に興味を持ち、自分の意見をもつことができる。 ・感謝の気持ちを表現することができる。	・ニュースの内容を分かりやすくリライトしておく。 ・ワークシートを使い意見をまとめやすくする。 ・今までの生活を振り返り、感謝の気持ちを具体的に書くようにする。

令和6年度 東京都立足立特別支援学校 年間指導計画

学部	高等部 普通科	学年	3年	学習グループ	重度・重複(2人)	教科等名	国語
年間授業時数	59	使用教室	3年3組教室	使用教科書		国語	なし
曜日・校時 担当教員	月曜日	5時間目(13:15~14:05)	MT	吉田 祥子	ST	金井 亮	
	木曜日	6時間目(14:10~15:00)	MT	吉田 祥子	ST		
ね ら い	(1)	日常生活に身近な国語について理解を深める。					
	(2)	言葉やジェスチャー、文字等によるコミュニケーションを高める。					
	(3)	言葉やジェスチャー、文字等によるコミュニケーションを高める。文字の理解を深める。					
学期	単元名	指導月	指導時数	主な学習	ねらい	指導の工夫	
1 学 期	あいさつ、返事	4	6	・いろいろな場面のあいさつ、返事（声を出す、うなづく等）を学習する。	・現場実習に向けて、自分のこととして意識できるようにする。	・手本、写真、絵カードを使い、イメージをもちやすいようにする。	
	体育祭の振り返り	5	6	・体育祭を写真とともに振り返り、掲示物を作成する。	・体育祭の思い出を絵や写真で振り返ることができる。	・当日の写真やエピソードを活用する。	
	図書室利用について	6	6	・図書室の利用の仕方を知る。	・図書室の利用について知る。	・図書室で興味のある本を楽しむようにする。	
	七夕	7	3	・短冊に願いを書いたり、カードから選んだりする。	・気持ちや願いを文字やカードを使用して表せるようにする。	・写真、絵カード、具体物を使い、イメージをもちやすいようにする。	
2 学 期	さまざまな言葉	9 10	10	・周囲の物や人の名前、季節の言葉を、実物やマッチングを用いて学習する。	・名前や言葉を意識できるようにする。	・手本、写真、絵カードを使い、イメージをもちやすいようにする。	
	気持ちを伝える	11	7	・はい・いいえ、好き・嫌い、暑い・寒い、などを表現できるように学習する。	・自分の気持ちを言葉やカード、身振り手振りなどで表現できるようにする。	・教師の見本や、視聴覚教材を活用する。	
	年賀状	12	7	・文字やスタンプを用いて年賀状を書く。	・日本の文化や習慣を知る。	・書字具を持つ支援をする。	
3 学 期	書道	1	4	・筆と墨を用いて字や墨象を書く。	・日本の文化や習慣を知る。	・書字具を持つ支援をする。	
	移動教室の振り返り	2	5	・移動教室を写真とともに振り返り、掲示物を作成する。	・移動教室の思い出を絵や写真で振り返ることができる。	・当日の写真やエピソードを活用する。	
	文化祭の振り返り	3	5	・文化祭を写真とともに振り返り、掲示物を作成する。	・文化祭の思い出を絵や写真で振り返ることができる。	・当日の写真やエピソードを活用する。	